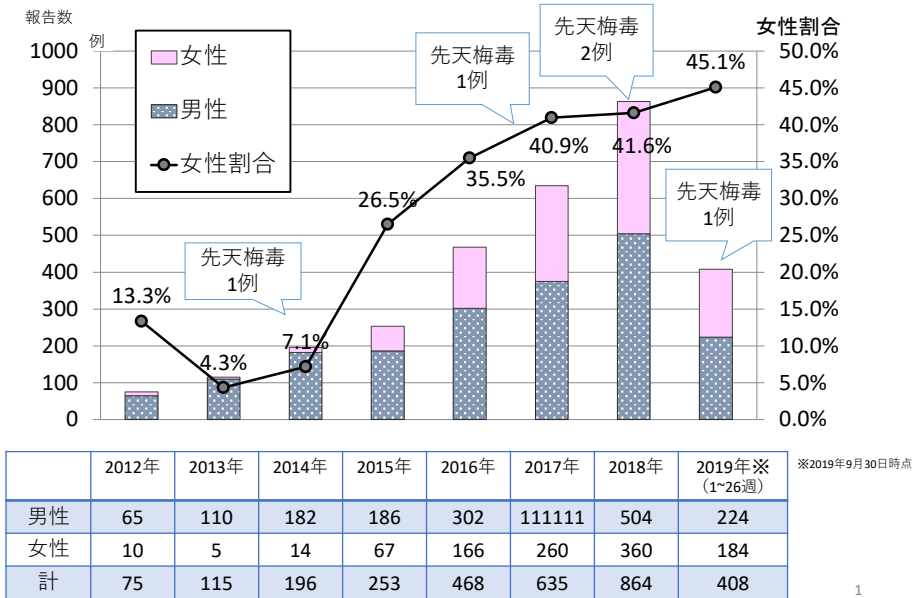
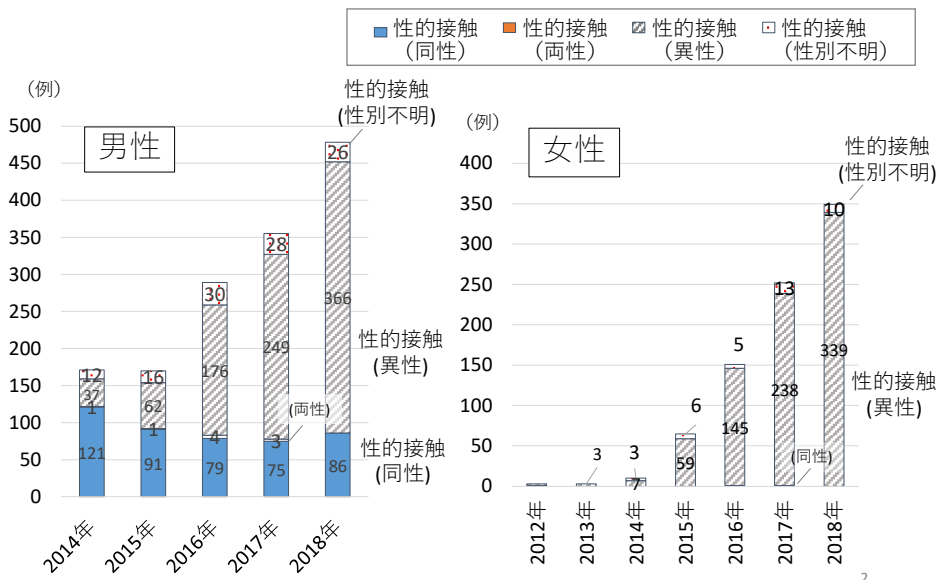


梅毒 男女別報告数推移（大阪市）



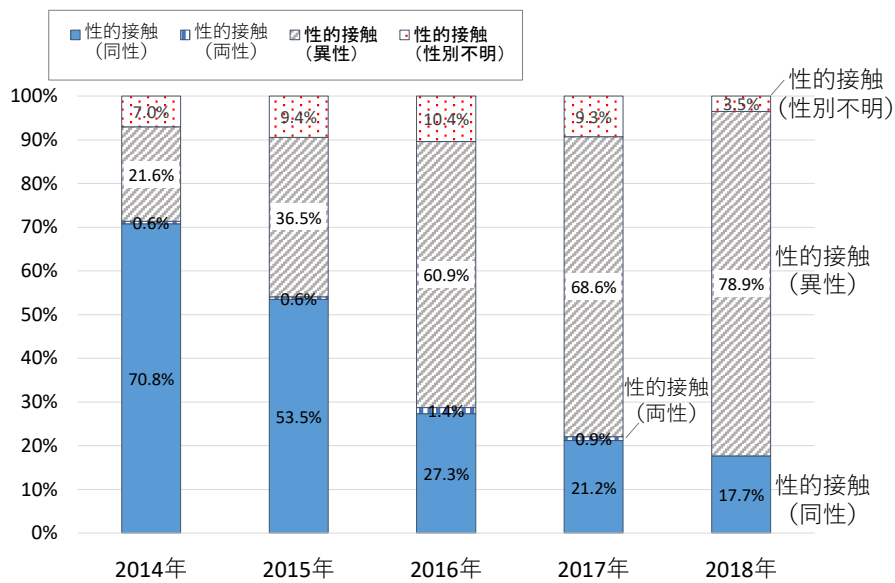
1

感染経路別届出数（性的接触のみ）



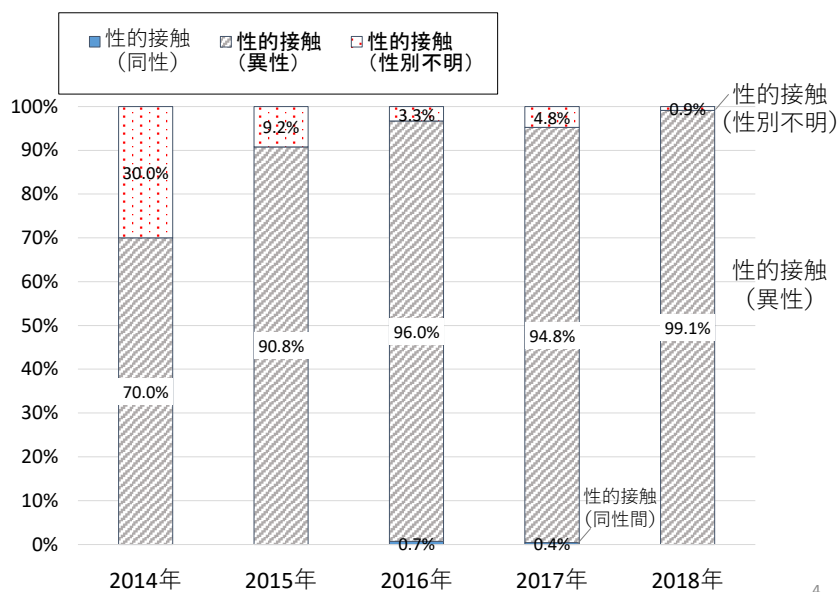
2

感染経路別届出割合推移（男性） 性的接触のみ



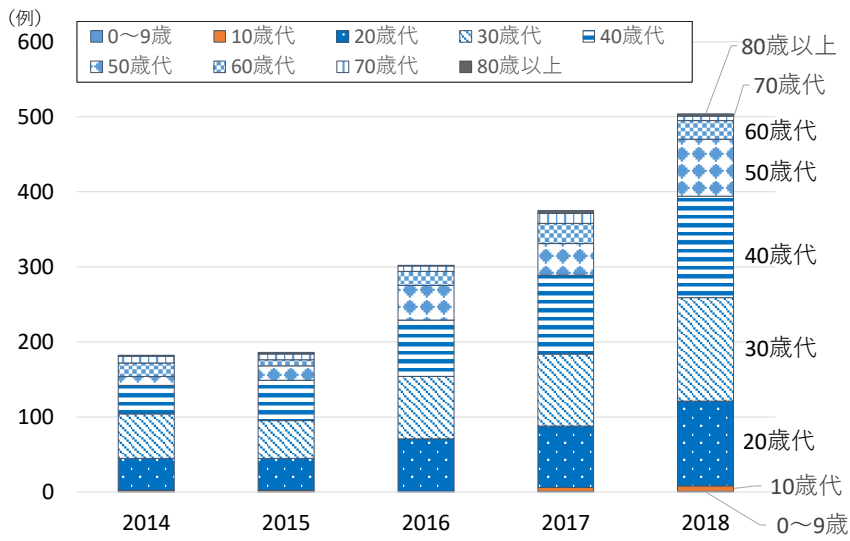
3

感染経路別届出割合推移（女性） 性的接触のみ



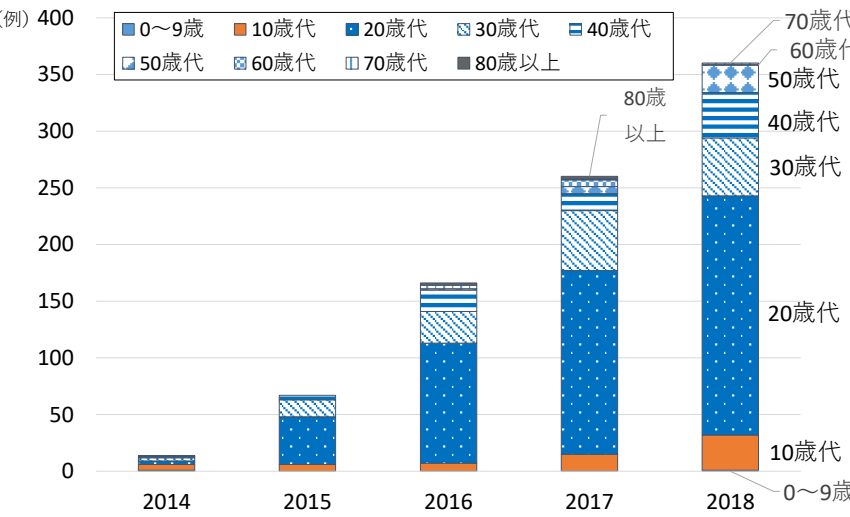
4

年代別届出数の推移（男性）



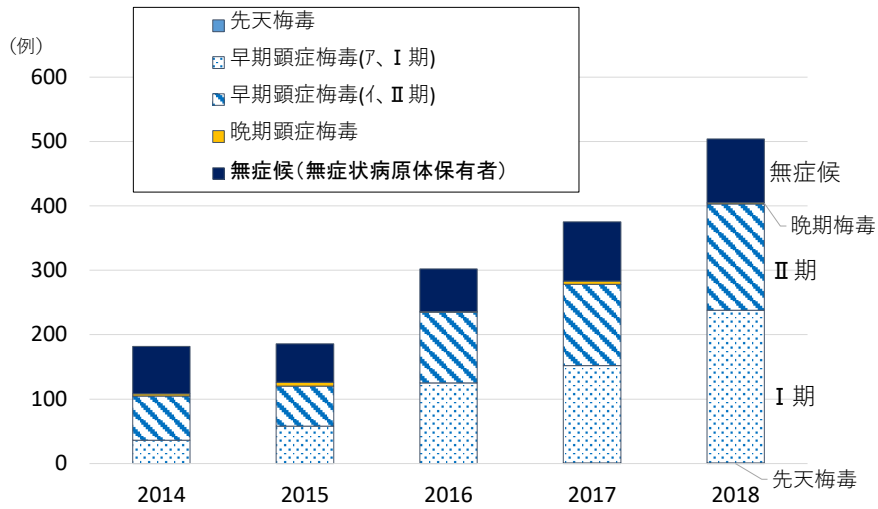
5

年代別届出数の推移（女性）



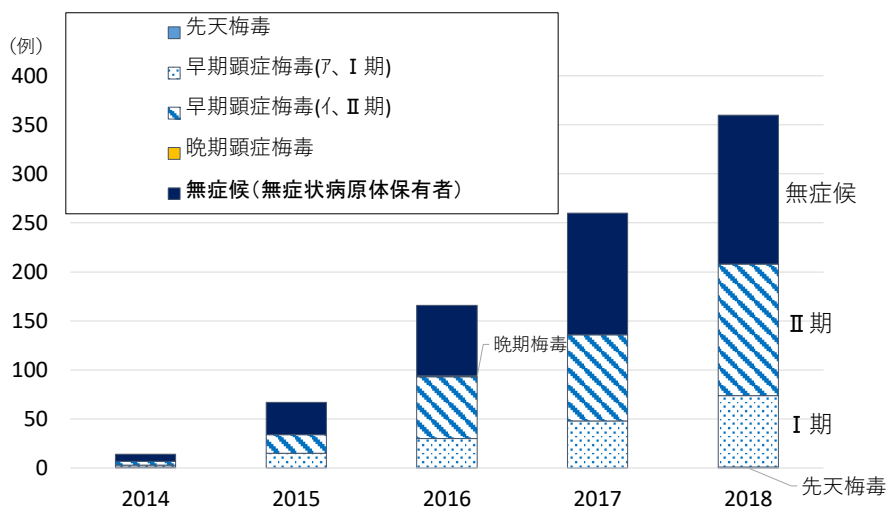
6

病期別届出数の推移（男性）



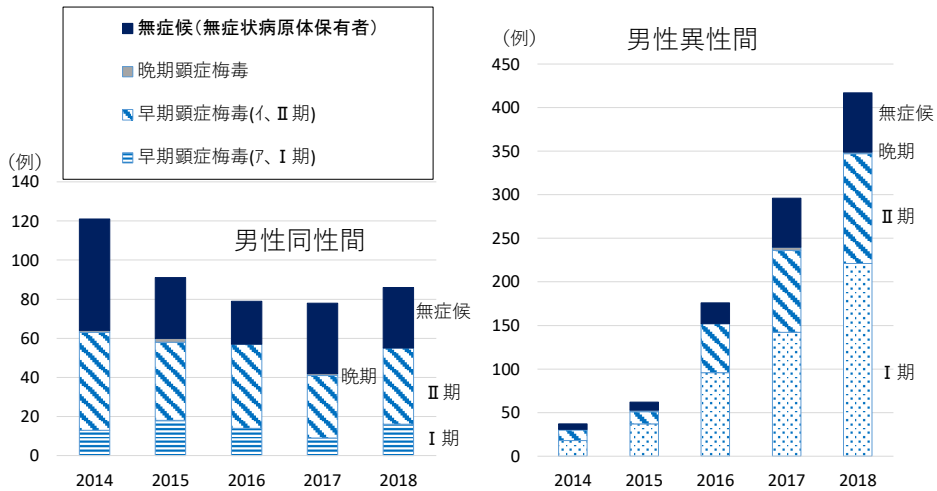
7

病期別届出数の推移（女性）



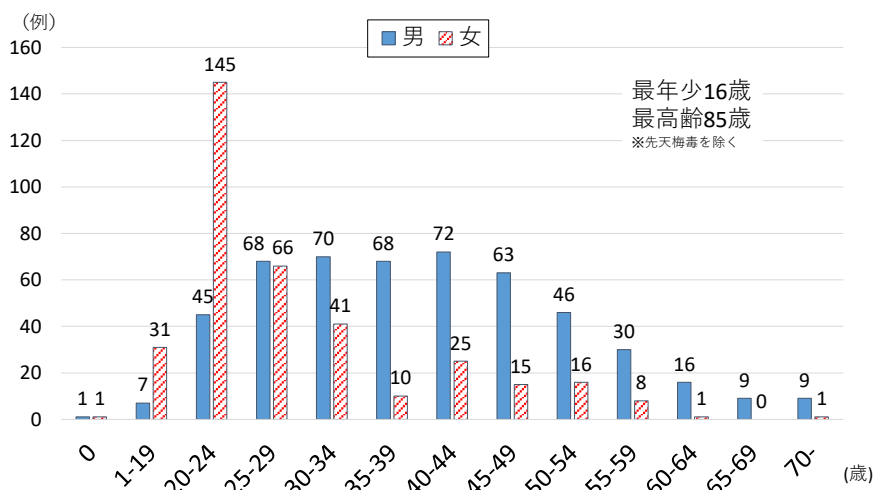
8

〔再掲〕 感染経路別病期の推移（男性）



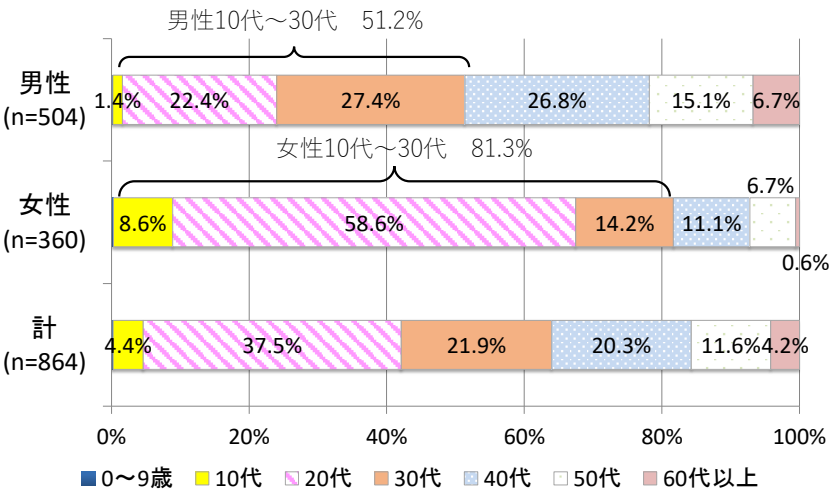
9

2018年 梅毒 男女別年齢別報告数 (n=864)



10

2018年 梅毒 男女別年代別割合（大阪市） （n=864）



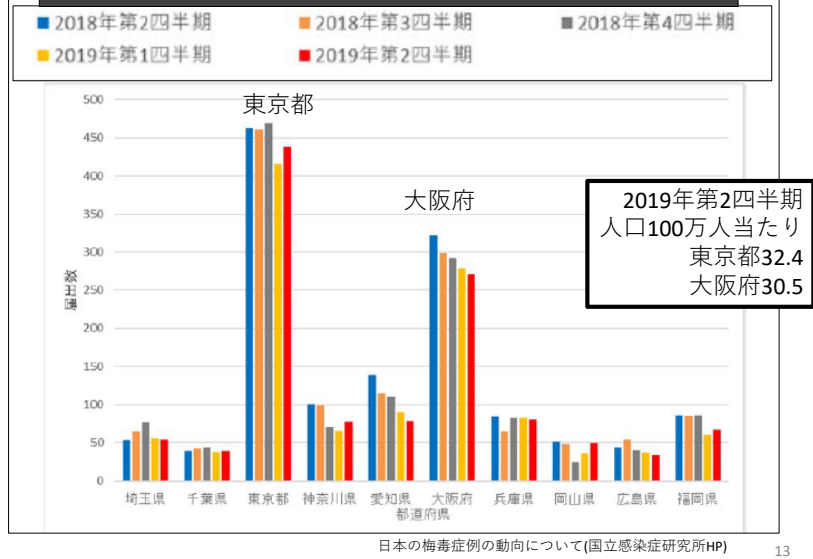
11

2018年発生届出数上位医療機関 （ ）届出数

【男性】			【女性】		
診療科			診療科		
診療所A	(総合診療科)内科・皮膚科・アレルギー科	(49)	診療所I	婦人科・内科	(60)
診療所B	泌尿器科	(44)	診療所H	婦人科・内科	(58)
診療所C	皮膚科・性感染症皮膚科	(34)	診療所J	婦人科	(25)
診療所D	泌尿器科	(34)	診療所K	婦人科	(24)
病院a		(24)	診療所A	(総合診療科)内科・皮膚科・アレルギー科	(17)
診療所E	泌尿器科	(20)	診療所L	内科・皮膚科・婦人科	(10)
診療所F	皮膚科	(15)	診療所M	婦人科・内科・泌尿器科	(10)
診療所G	腎泌尿器科	(15)	診療所N	婦人科、乳腺外科、産科	(8)
診療所H	婦人科・内科	(13)	病院b		(8)

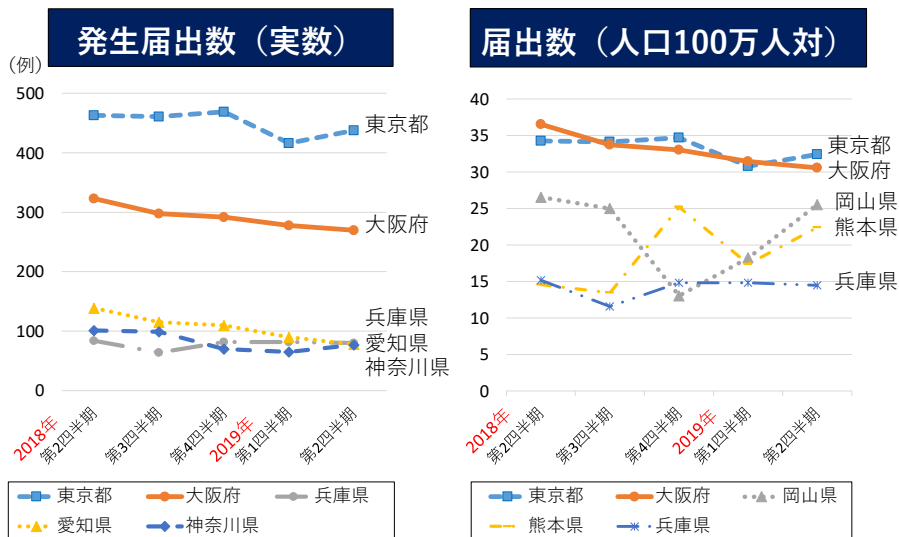
12

都道府県別届出数(届出数上位10位を抜粋) 2018年第2四半期から2019年第2四半期



13

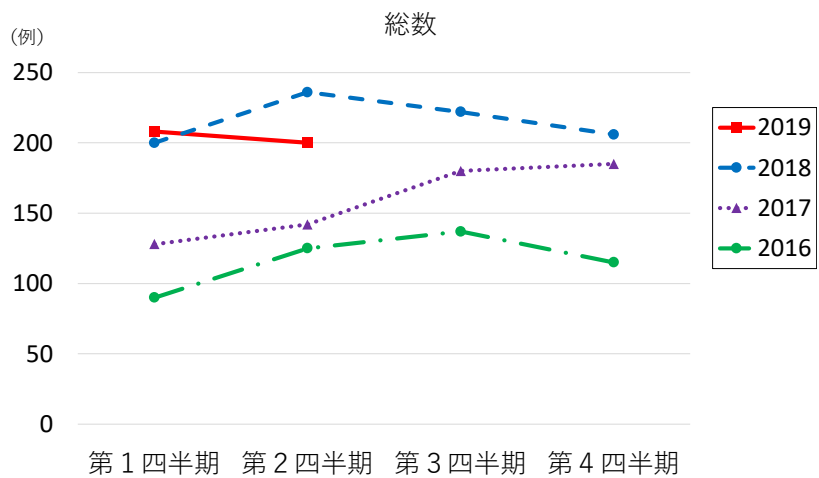
梅毒発生届出数の推移 (2019年第2四半期上位5都道府県を抜粋)



日本の梅毒症例の動向について (2019年7月3日現在) 国立感染症研究所HPより改変

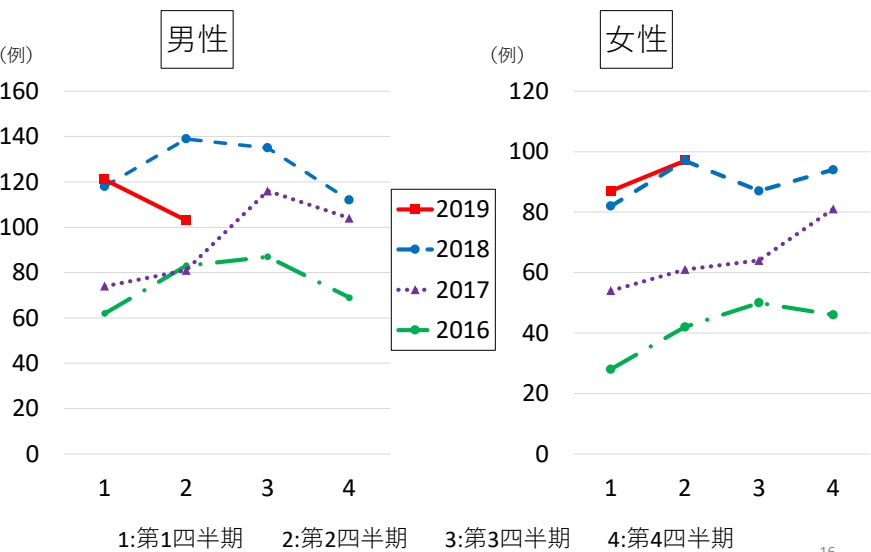
14

大阪市梅毒発生届出数の推移（総数）



15

大阪市梅毒発生届出数の推移（男女別）



16

別添2様式5-16

梅毒発生届

都道府県知事（保健所設置市長、特別区長） 殿

梅毒患者の申告及び梅毒患者の発生に関する届出に関する法律第12条第1項（関係医等に対して適用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

届出の氏名 届出年月日 令和 年 月 日
 氏名 届出又は報告者の氏名
 氏名 届出又は報告者の氏名
 氏名 届出又は報告者の氏名

(※関係・診療所に就任していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 性別 (男性) した者 (女性) の欄に 患者 (確定例) ・梅毒状態等患者 ・梅毒患者亡者の死因	2 性別	3 診断時の年齢 (15歳未満)	4 性別
5 診断	6 診断	7 診断	8 診断
9 診断	10 診断	11 診断	12 診断
13 診断	14 診断	15 診断	16 診断
17 診断	18 診断	19 診断	20 診断
21 診断	22 診断	23 診断	24 診断
25 診断	26 診断	27 診断	28 診断
29 診断	30 診断	31 診断	32 診断
33 診断	34 診断	35 診断	36 診断
37 診断	38 診断	39 診断	40 診断
41 診断	42 診断	43 診断	44 診断
45 診断	46 診断	47 診断	48 診断
49 診断	50 診断	51 診断	52 診断
53 診断	54 診断	55 診断	56 診断
57 診断	58 診断	59 診断	60 診断
61 診断	62 診断	63 診断	64 診断
65 診断	66 診断	67 診断	68 診断
69 診断	70 診断	71 診断	72 診断
73 診断	74 診断	75 診断	76 診断
77 診断	78 診断	79 診断	80 診断
81 診断	82 診断	83 診断	84 診断
85 診断	86 診断	87 診断	88 診断
89 診断	90 診断	91 診断	92 診断
93 診断	94 診断	95 診断	96 診断
97 診断	98 診断	99 診断	100 診断

1. 診断 (確定) した者 (女性) の欄に
患者 (確定例) ・梅毒状態等患者 ・梅毒患者亡者の死因

2. 性別

3. 診断時の年齢 (15歳未満)

4. 性別

5. 診断

6. 診断

7. 診断

8. 診断

9. 診断

10. 診断

11. 診断

12. 診断

13. 診断

14. 診断

15. 診断

16. 診断

17. 診断

18. 診断

19. 診断

20. 診断

21. 診断

22. 診断

23. 診断

24. 診断

25. 診断

26. 診断

27. 診断

28. 診断

29. 診断

30. 診断

31. 診断

32. 診断

33. 診断

34. 診断

35. 診断

36. 診断

37. 診断

38. 診断

39. 診断

40. 診断

41. 診断

42. 診断

43. 診断

44. 診断

45. 診断

46. 診断

47. 診断

48. 診断

49. 診断

50. 診断

51. 診断

52. 診断

53. 診断

54. 診断

55. 診断

56. 診断

57. 診断

58. 診断

59. 診断

60. 診断

61. 診断

62. 診断

63. 診断

64. 診断

65. 診断

66. 診断

67. 診断

68. 診断

69. 診断

70. 診断

71. 診断

72. 診断

73. 診断

74. 診断

75. 診断

76. 診断

77. 診断

78. 診断

79. 診断

80. 診断

81. 診断

82. 診断

83. 診断

84. 診断

85. 診断

86. 診断

87. 診断

88. 診断

89. 診断

90. 診断

91. 診断

92. 診断

93. 診断

94. 診断

95. 診断

96. 診断

97. 診断

98. 診断

99. 診断

100. 診断

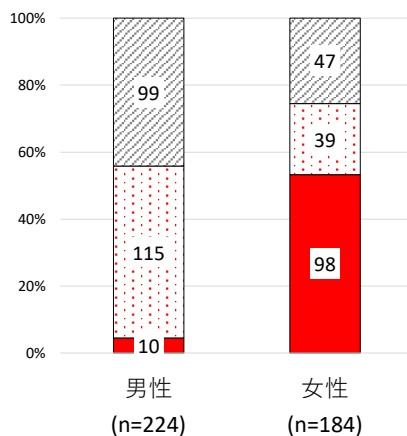
2019.1.1～
梅毒発生届様式変更（項目追加）

- ・ HIV感染症合併の有無
- ・ 性風俗産業従事歴・利用歴
- ・ 過去の治療歴
- ・ 妊娠の有無
- ・ 症状項目「口腔咽頭病変」追加
- ・ 診断方法「PCR検査」追加

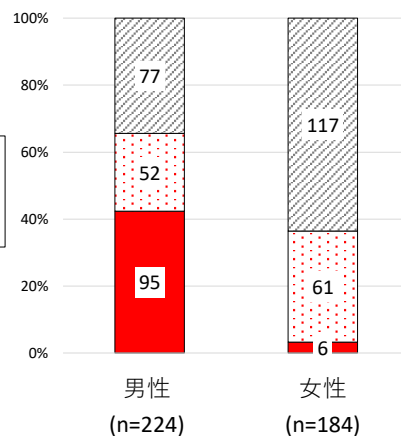
性風俗産業（直近6か月以内）

2019年第1～26週
(n=408)

従事歴



利用歴



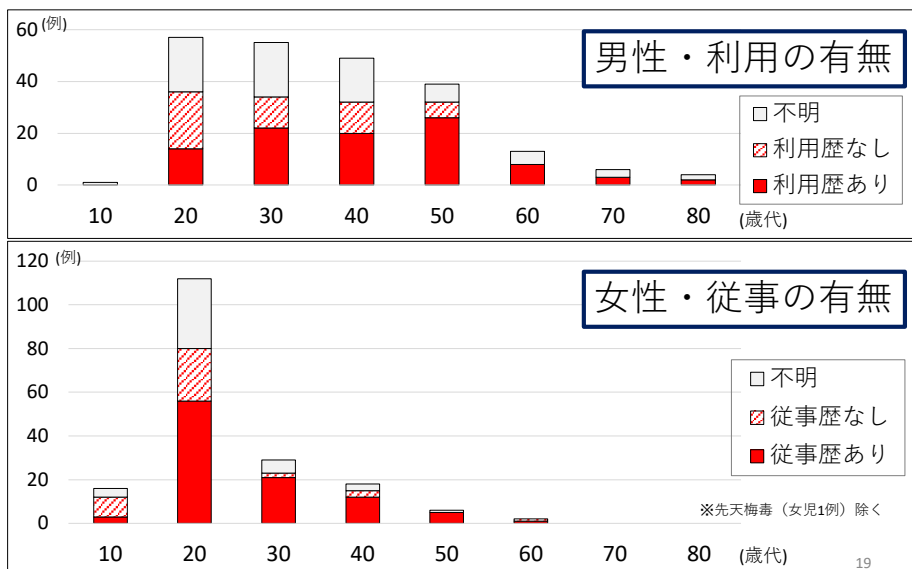
「従事歴あり」は女性の53.3%
(把握できた届出の中では71.5%)

「利用歴あり」は男性の42.4%
(把握できた届出の中では64.6%)

【性風俗産業】

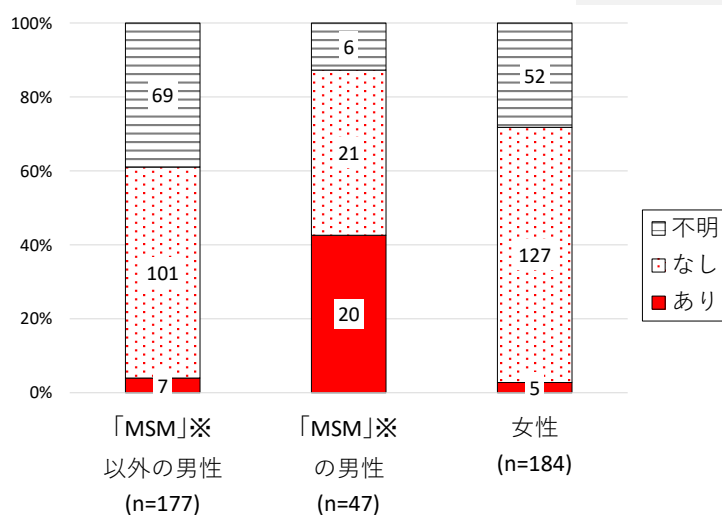
2019年第1～26週
(n=408)

男性の利用と女性の従事・年齢階級別比較



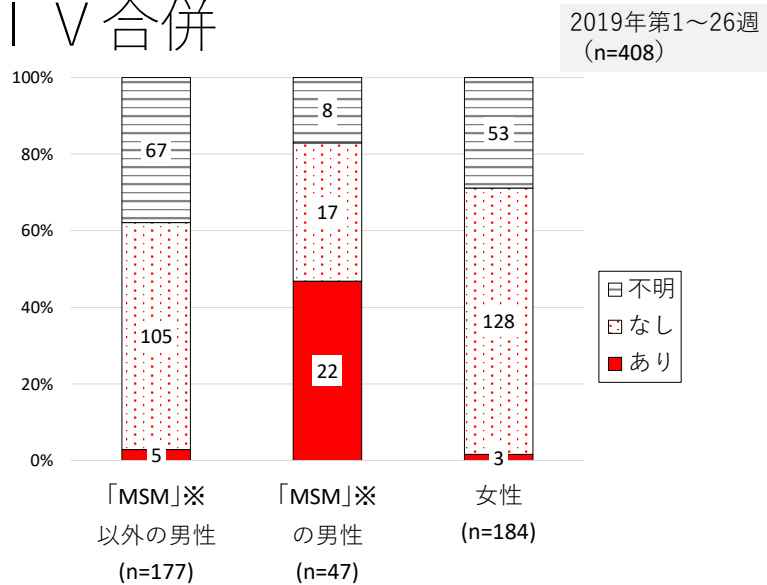
過去の梅毒治療歴

2019年第1～26週
(n=408)



※MSM：感染原因・感染経路において「性的接触」「同性間」と記載のあったもの

H I V 合併



※MSM：感染原因・感染経路において「性的接触」「同性間」と記載のあったもの 21

妊娠「有」

()内は発生届出数

第26週までに5件の届出

- ・妊娠週数：10～15週(3)、16～21週(2)
- ・病期：無症候(4)、早期顕症梅毒Ⅱ期(1)
- ・性風俗産業従事歴：無(5)
- ・性風俗産業利用歴：無(4)、不明(1)
- ・過去梅毒治療歴：いずれもなし
- ・感染地域：大阪市内(3)、大阪市内府下(1)、不明(1)

大阪市における先天梅毒報告 (2014～2019年第26週まで)

【先天梅毒（児）】

届出年	2014	2017	2018①	2018②	2019
性別	女	男	女	男	女
診断時月齢	0	0	0	0	0
診断時症状	肺炎、 肝腫大	肝脾腫、 血小板減少	感音性難聴、 肝炎、紫斑、 表皮剥離	肝脾腫、 梅毒性天疱 瘡	丘疹性梅毒 疹、肝脾腫、 血小板減少

【母親】

年齢	10代	20代	20代	20代	20代
梅毒病型	無症候	Ⅱ期梅毒 (梅毒性乾癬)	Ⅱ期梅毒 (梅毒性バラ疹)	無症候	無症候

23